



沖縄の“伝統文化”の一つに、親族組織の「門中制度」に結びついたトートーメー（位牌）継承の慣習があります。もともと士族層の祖先崇拝に根ざした慣例ですが、現在では過去の身分を問わず清明

祭や旧盆などの行事をとおして、家族・親戚の交流を深める拠り所にもなっています。しかし、生活環境やライフスタイルの変化に伴い、いろいろ課題も出てきました。

本講座では、女性の視点から「トートーメー」の歴史をひもとき、課題をどう乗り越えるか、沖縄女性史家の宮城晴美さんに語っていただきます。

日時:2024年 **6月8日(土)**

午後2時～4時

みやぎはるみ

講師：**宮城 晴美**さん（沖縄女性史家）

会場：なは女性センター学習室（なは市民協働プラザ1階）

対象者：関心のある方 / 定員：36人(事前申込先着順)

*市在住・在勤・在学の方は、一時保育(2歳児以上未就学児)・手話通訳がご利用できます。5月31日(金)までにお申し込みください。

講座のお申込み
はQRコード
からできます。



【講師プロフィール】（みやぎ はるみ）

1949年、座間味村に生まれる。沖縄の月刊誌の記者、編集者を経て、フリーライターに。『座間味村史』（全3巻）をまとめたあと那覇市職員となり、『那覇女性史』（前近代・近代・戦後編）を発行。その後、那覇市歴史資料室に異動し、『那覇市史』の編集に携わる。2010年3月那覇市歴史博物館を定年退職し、沖縄大学、琉球大学、沖縄国際大学で非常勤講師を10年勤める。沖縄女性史家。

著書に『新版母の遺したもの 沖縄・座間味島「集団自決」の新しい事実』高文研（2008年）他。1994年より、新沖縄県史編集委員会委員を務め、現在副会長。女性史部会長として『沖縄県史 女性史』（沖縄県教育委員会）を2016年刊行。



沖縄女性史から トートーメー（位牌） 継承問題を考える

お問合せ&講座のお申込み(受講無料です)⇒なは女性センター窓口でも受付しています。

TEL.098-951-3203 FAX.098-951-3204